

第8回ラジオ番組審議委員会議事録

日時 2021年11月24日(水) 13:30~15:00

場所 天草ケーブルネットワーク(株)3F会議室

出席者：審議委員会 松下委員長・古賀委員・原田委員・横山委員

市役所オブザーブ 秘書課広報広聴係 尾崎係長・情報政策課 田中係長・高見参事
防災危機管理課 久保係長

天草ケーブルネットワーク(株) 堀田社長 野上常務

事務局 芥川・藤川・小山アドバイザー(オブザーブ)

協議・報告事項が以下のとおり行われた。

松下委員長挨拶

コロナの影響で、お集まりいただくのが2年ぶりとなりました。委員の皆様には忌憚のないご意見をお願いします。

堀田社長挨拶

初めての出席になります。テレビと違って「ながら」で聴いている方も多いと思いますが、公設民営としての役割を果たして参りたい。

事務局 委員、出席者紹介

近況報告(事務局より) コロナ対策で、入室制限、設備、クリーニング他。市内の飲食店のテイクアウト、弁当の周知応援。パーソナリティのミキサー技術(ワンマンオペレート)の習得。(コロナ対策として理解・協力いただきパーソナリティーの約8割がワンマンでの放送が可能者となりました。)

番組表にて現在の番組紹介。自主制作番組(日中帯4番組の概要説明)

新番組「はちラジX」について

- ・以前のはちラジも個性的でよかったが、新番組「はちラジX」は、公設民営的でいい。
- ・みつばちラジオの柱ができたと思う。パーソナリティーのスキルも上がった。聴きやすくなった。
- ・レギュラー番組全般において、あまりにもローカルズムになりすぎて、日本全体の動きがわかる内容も必要ではないか。
- ・金曜の夕方3人組(下田会)はいいスパイスになりよかったのに。もう少し、砕けた番組があつていい。非常に稀有な番組だった。

- ・年に1度くらいやっていいのでは。下田会が終わって残念。
- ・テーマによりすぎ、かかりすぎではないか。(個性が出ない。)
- ・絶対に当たらないクイズは、コアなリスナーのボケをあてにしている。サイレントリスナーが置いてきぼり感がある。テーマの作り方をもっと考えられないか。
- ・出席届はあるか。メッセージを取りやすくするには逆効果ではないか。
- ・声のかけ方で、他のリスナーも参加しやすくなるのでは。

フレフレ天草

- ・こういう番組がやりたかった。してやられた感じ。商工会や会議所でもやりたい。
- ・夜の番組を充実してほしい。大西さんの番組一辺倒だと。自分も夜の枠をやってみたい。
- ・ワンオペは、ブラック企業への第一歩。気を付けてほしい。
- ・中小企業家同友会のみでなく、いろんな経営者が出演するところがすばらしい。

わたしの校歌ふるさと便り

- ・なくなった母校の効果が流れるのは、うれしい限り。いつ放送されるか一覧を作り、HP等でお知らせしては。
- ・卒業した小学校 中学校 高校すべてが、統合されなくなった。学校が無くなった方々に思いを伝えるすばらしい企画だと思う。

その他ご意見等

- ・熊日ニュースは、国際、経済などバランスよく読んでほしい。
- ・「わわわのハピハピハッピー」こういうコロナ禍の中、このような番組が聴きたい。是非、復活してほしい。
→制作者である団体には、リスナーからも復活の要望が挙がっている事を伝えています。改めて調整・要望して参ります。
- ・アウトドアクラブ・Rockin Amakusa 等、独自の番組も聞き心地が良い。
- ・ニュースのチョイスを検討してほしい(ローカルのみでなく全国版も)他の局を選局しなくても、みつばちラジオだけで、ローカルから全国・国際情報等も収集できると良い。
- ・テレビで以前放送していた「なかむら市長に問いちゃお」のような市長が直接、市民へ思いを伝える番組があってもいいのではないか。
- ・特派員を活用してほしい。先日の亀川の事故による大渋滞の時、情報が欲しかった。
- ・特派員制度をお店とか頼むと宣伝にもなるし、いいのではないか。

以上 活発の意見交換があり、15:00 閉会となった。